

ガントピックス

No.62

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場

「カラマツを枯死させるキクイムシ」パンフレットを作成しました

近年、北海道では、穿孔性の森林害虫カラマツツバキクイムシによってカラマツが集団枯死する現象が発生しています。そこで林業試験場では、被害の概要と対策についての研究成果をまとめたパンフレットを作成しました(図-1)。キクイムシによる大量枯死は、「カラマツが衰弱」した林分で、「キクイムシ個体数が増加」したときに発生します(図-2)。そのため、雪害や風倒害の発生時には、速やかに被害木整理(伐倒・搬出)を実施することが望めます。また、虫害が発生したときはドローンなどを活用して被害把握を迅速に行い(図-3)、被害レベルが高い林分ではできるだけ早期に皆伐・収穫することが、収益を確保するうえで重要です(図-4)。

本パンフレットは、林業試験場のホームページでダウンロードできます。

<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/kanko/fukyu/pdf/kikuimushi.pdf>

(保護 G 徳田佐和子)



図-1 パンフレット表紙

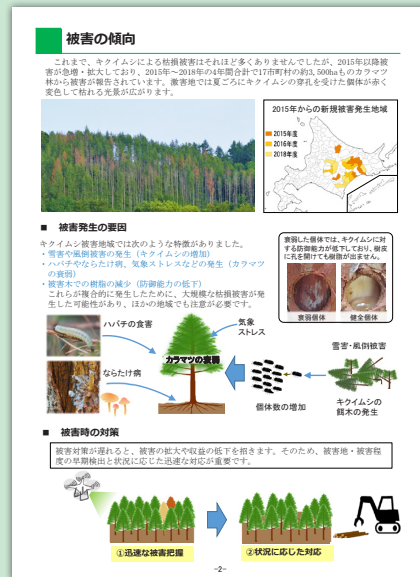


図-2 被害の傾向



図-3 ドローンを活用した被害把握法

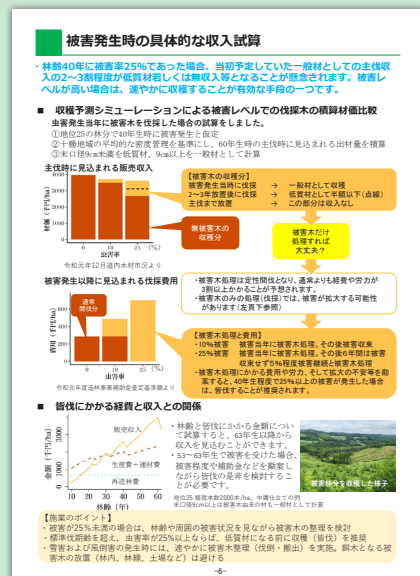


図-4 収穫予測シミュレーションの結果